

保護者様

倉敷市立富田小学校

令和5年度学校教育についてのアンケート結果について(お知らせ)

春寒の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より、本校教育の推進に對しまして御支援や御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、学校教育についてのアンケートへの御協力をいただき、ありがとうございました。アンケート結果をお知らせいたします。学校ではアンケート結果や皆様からいただきましたご意見を真摯に受け止めるとともに、子供たちや保護者・地域の皆様の思いや願いを大切にしながら、子供たちのよりよい成長のために一層の努力していきたくと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

学校教育についてのアンケート(児童・保護者・教職員比較)

児童用	保護者・教職員用	A+B (%)			C+D (%)		
		児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
1 私は、学校へ行くのが楽しい。	1 子どもたちは、楽しそうに学校に通っている。	90.5	89.6	100.0	9.5	10.4	0.0
2 私は、自分の考えをもち、進んで学習に取り組んでいる。【挑戦する力】	2 子どもたちは、自分の考えをもち、進んで学習に取り組んでいる。【挑戦する力】	91.6	79.2	96.4	8.4	20.8	3.6
3 私は、学校のきまりや約束を守ろうと生活を工夫している。【判断する力】	3 子どもたちは、学校のきまりや約束を守ろうと生活を工夫している。【判断する力】	92.7	96.1	78.6	7.4	4.0	21.4
4 私は、最後まで粘り強く、目標に向かって頑張っている。【忍耐する力】	4 子どもたちは、最後まで粘り強く、目標に向かって頑張っている。【忍耐する力】	92.6	90.1	92.8	7.4	9.9	7.1
5 私は、話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている。【発想する力】	5 子どもたちは、話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている。【発想する力】	87.0	86.2	89.3	13.0	13.9	10.7
6 私は、自分や友達の良いところをお互い認め合う学級づくりに取り組んでいる。【協調する力】	6 学校は、子どもたちがお互いを認め合う学級・学校づくりに取り組んでいる。【協調する力】	91.4	88.6	96.4	8.7	11.4	3.6
7 私は、相手の気持ちを考えた言動をしている。【共感する力】	7 学校は、人権を尊重する心を育てている。【共感する力】	91.9	92.1	96.4	8.1	7.9	3.6
8 私は、地域の人にあいさつしたり、地域の行事や活動に参加したりしている。	8 学校は、子どもたちのために家庭や地域との連携に努めている。	84.2	92.1	100.0	15.8	7.9	0.0
9 私は、家の人に学校や友達のことを話している。	9 子どもたちは、家で学校や友達のことを話している。	88.8	93.0	100.0	11.2	6.9	0.0
10 先生は、教え方を工夫し、勉強がわかりやすい。	10 学校は、基礎・基本の学力を身につけさせるため工夫し、学力の向上を図ろうとしている。	95.1	89.6	96.5	4.9	10.4	3.6
11 先生は、自分たちがよくないことをした時には、きちんと話をしている。	11 学校は、子どもたちのまちがった行動を適切に指導している。	96.4	88.6	100.0	3.5	11.4	0.0
12 先生は、あなたのよいところを認め、ほめている。	12 学校は、子どもたちのよいところを認めほめている。	94.4	93.6	100.0	5.6	6.4	0.0
13 先生は、自分たちのことを分かってほしい。	13 学校は、子どもたちをよく理解しようとしている。	95.1	88.6	100.0	4.8	11.4	0.0
14 先生は、話したいことや困ったことがあるとき、相談にのっている。	14 学校は、子どもたちについての相談によく応じている。	94.6	88.1	100.0	5.3	11.9	0.0

アンケート結果より

本年度は児童につけたい6つの力をアンケート項目に入れて行いました。全体的に、A、Bの合計が80%を超える項目が、児童・保護者・教職員のどのアンケートも多かったです。

特に、児童・保護者で高かった3項目は、

〈児童〉

10「先生は、教え方を工夫し、勉強がわかりやすい。」95.1%

11「先生は、自分たちがよくないことをした時には、きちんと話をしている」96.4%

13「先生は、自分たちのことを分かってほしい。」95.1%

〈保護者〉

3「子どもたちは、学校のきまりや約束を守ろうと生活を工夫している。【判断する力】」96. 1%

9「子どもたちは、家で学校や友達のことを話している。」93. 0%

12「学校は、子どもたちのよいところを認めほめている。」93. 6%

です。

反対に、A、Bの合計が80%より低かったのは、

〈保護者〉

2「子どもたちは、自分の考えをもち、進んで学習に取り組んでいる。【挑戦する力】」79. 2%

の1項目でした。

- ・ 10の項目：基礎・基本の学習を身につけられるよう、めあてとまとめを意識した授業づくりに取り組んでいます。また、自分の考えをまとめたり、考えを友達と共有する際にクロームブックを活用したりするなど学習に ICT 機器を取り入れた授業を行っています。「書く」ことに抵抗がある児童も、パソコンで文章を作成することや推敲することに慣れ、取り掛かりまでが早かったり文章量を考えて書いたりする姿が見られるようになりました。
- ・ 12、13の項目：自分のよさを認めほめられることで、児童の自己肯定感が高まっています。自信をもって活動に取り組むことや目標に向けて努力することなどにつながっています。本年度は、年2回の人権週間を中心に、グッドビヘイビアカードを渡したりや放送で紹介したりする取組を実施しました。自分のよさ、学級のよさ、学年のよさ、学校のよさなど広がっています。
- ・ 9の項目：学校であったことや友達のことを家でしっかり話している様子が伺えます。学年が上がるにつれて話す内容は変わっているようですが、大事なことは伝えられているようです。また、家族に話を聞かれることで話すことができている児童も多いです。
- ・ 2の項目：児童は91. 6%が肯定的に捉えていましたが、保護者は79. 2%でした。目標をもって取り組む、苦手なことも投げ出さずに取り組む、できた喜びや自分の成長に気付くなど授業や家庭学習での自己の姿を捉えています。家庭では、取り掛かるまでに時間がかかったり好きなことを優先したりする姿があるのかもしれませんが。家庭学習強化週間など主体的に学習に取り組む活動をこれからも継続していきたいと思います。